

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年11月23日（月）～令和2年11月29日（日）〔令和2年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。

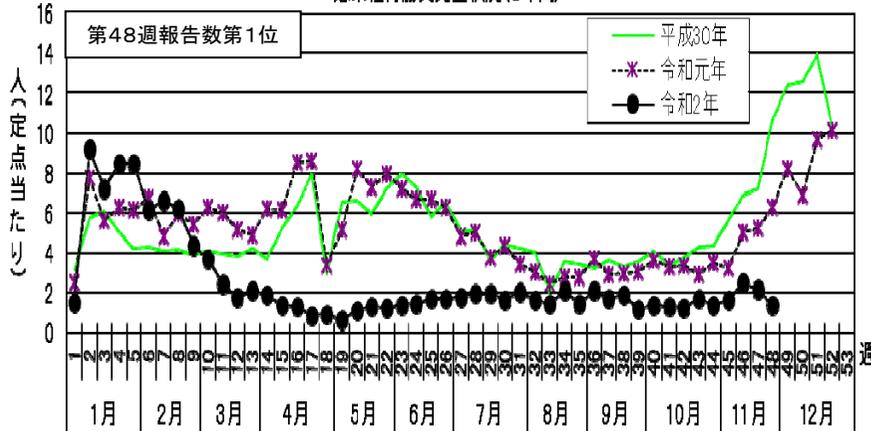
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.38人と前週（2.16人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.78人と前週（0.86人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

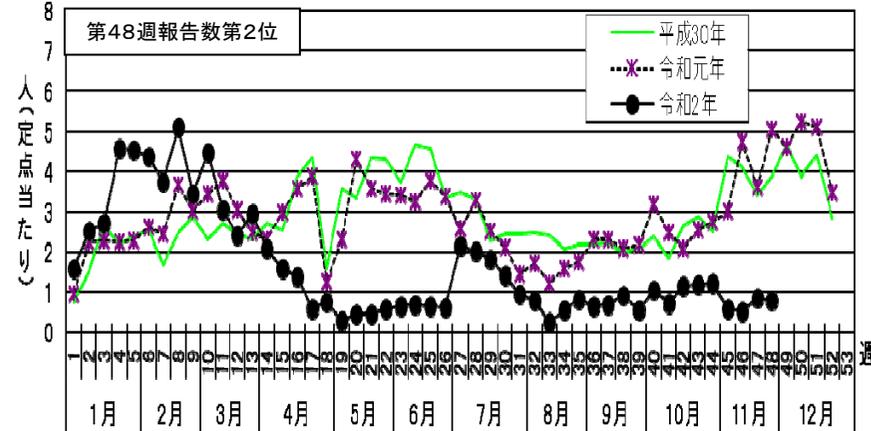
突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.41人と前週（0.59人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

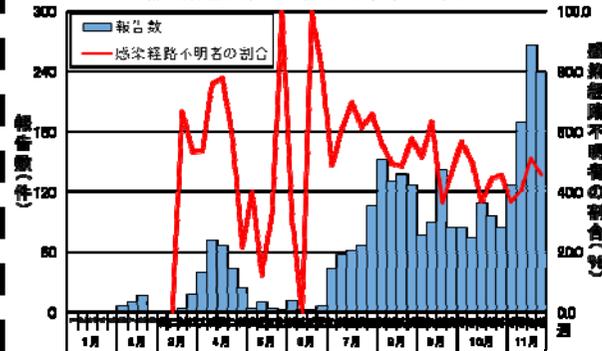


無症状の時期にも御注意を！～新型コロナウイルス感染症～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、11月以降急増しており、令和2年第48週（11月23日～11月29日）は238件でした。前週の267件から横ばいではありますが、依然として200件を超える報告数で、このうち約半数に相当する100件程度は感染経路が明確には判明していません。

新型コロナウイルス感染症は、発症2日前から人に感染させる力があるといわれています。無症状の時期にも感染力がありますので、人と対面で接触する場合や不特定多数の人が集まる場所などでは、可能な限りマスクなどを着用し、感染を予防しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年)



※感染経路不明者の割合は「新型コロナウイルス感染症モニタリング状況」から作成

典型的な新型コロナウイルス感染症の経過

